

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	nonPhALL	MRD2019維持(M-1)
投与予定	休薬を含めて1クール 28日 10クール 施行	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)							
							1							
1	生食	100ml	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	30分	↓							
	メクロプラミド	10mg												
	プレドニゾン	60 mg/m ²												
2	生食	50ml	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	15分	↓							
	ピンクリスチン	1.3 mg/m ²												
3	生食	50ml	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	5分	↓							
4	16歳以上35歳以下 L-アスパラギナーゼ	10000 KU/m ²	#REF! KU/body	KU/body	筋注	↓	↓							
	5%ブドウ糖液	→		実際の投与量 ml										
	36歳以上65歳以下 L-アスパラギナーゼ	6000 KU/m ²	#REF! KU/body	KU/body										
	5%ブドウ糖液	→		実際の投与量 ml										

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
1	プレドニゾン		1日最大100mg/body
2	ピンクリスチン		1回投与量は最大2mg/bodyを超えない
4	L-アスパラギナーゼ		(5000U)1vを5%ブドウ糖液1mlで溶解

6-MP高感受性のNUDT15遺伝子のホモ多型患者(Cys/Cys)では、6-MPを10mg/m²に減量する。アロプリノール併用時は、6-MPを50%減量する。フェブキソスタットは併用禁忌とされる。

day1のプレドニゾロンは内服へ変更の場合あり。

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
6-メルカルトプリン	16歳以上35歳以下 50mg/m ² 36歳以上55歳以下 40mg/m ² 56歳以上65歳以下 30mg/m ²	分1 眼前	day1~28
メトレキサート	20mg/m ²	分1 眼前	day1、8、15、22
プレドニゾン	60mg/m ² (最大100mg/body)	分1朝食後又は 分2朝昼食後	day2~5

備考